

【出題意図】

総合型選抜の小論文は、「大学の講義のミニ体験」だと考えて下さい。

動画(講義の代用)を視聴し、「内容を理解できていること」、「理解した内容を自分の経験や身の回りのことと結びつけて考えられること」、これらが評価対象となります。

◆みているポイント◆

・問 1 は「理解力」：動画の内容を正しく整理し、記述できるか

問 1 には“正解”があります。動画の内容を正確に理解し、短くまとめ、伝えることがポイントです。動画の中の重要な部分を 200 字で正しくまとめてください。

・問 2 は「考える力」：動画をきっかけに、自分の体験や社会の出来事とつなげ、深く考えられるか

問 2 には“正解”がありません。動画の内容を出発点にし、自分の体験や社会の出来事と結びつけながら、自分なりの考えを深めてください。どんな視点で書くかは自由ですが、動画の内容を土台にして、自分の発想を順序立てて書くことが大切です。

◆書くときの注意点◆

1. 動画内容と関係のある話を書きましょう！：動画と関係の薄い話は、ただの「自分語り」になってしまいます。

2. 自分の体験を書いたら、必ず動画の話に戻りましょう！：体験を熱く語りすぎて、動画内容との関連が尻切れトンボにならないようにしましょう。

以上のことから、問 1 と問 2 では、求められている文章が異なります。問 1 は「正しくまとめる」こと、問 2 は「広げて考える」こと、これらの違いを意識して、上手に書き分けてください。

出題年度：2025 年度

【模範解答】

< I >

問 1

- ① 先延ばしとは、後のネガティブな結果を予測しながらも、不必要な遅延を引き起こすことである。先延ばしは、学業や就業でのさまざまな不適応な結果を招く。また、先延ばしをする人の特徴として、時間管理スキルの低さや失敗への恐れ、自尊心の低さ等がある。このような先延ばしは、必要な課題に取り組んで長期的に見て得られる報酬よりも、短期的な欲求や誘惑、衝動を優先させ、必要な課題を後回しにすることにより起こる。(197 字)
- ② 大学生を対象に、起業提案書の作成を課した実験で、課題ページでは面白い動画へのリンクの数が操作された。Low 条件では 1 本、Moderate 条件では 4 本、High 条件では 8 本の動画を視聴できた。作成された起業提案書の内容の創造性を条件間で比較した。結果、Moderate 条件が最も創造的であった。これより適度な先延ばしが、予想外の発想や新しいアイデアの生産に効果的であることが分かった。(191 字)
- ③ 前倒しとは、余分なコストを払ってでも課題に早く取り組み、早めに片づけることである。夏休みの宿題や歯科治療等の課題を前倒して行くと、これをしなければならないという認知的負荷は、課題を片付けたあとには持続しない。前倒しするためには、未来のことを考えて、今の欲求を我慢するという長期的な視野を持ち、自分自身をコントロールできる必要がある。(172 字)

問 2

【採点ポイント】 ※出題意図にて記載の通り、“正解”はありません。

- ・先送り、先延ばしの理解が正確である。
- ・先送り、先延ばしにまつわる自身の経験が論理的に記述できている。動画内容に即した体験を選択し、明瞭かつ必要十分な説明ができています。
- ・動画内容と自身の経験とを関連づけながら、先送り、先延ばしについての発展的な記述には加点する。